

ユーザー：金属加工工場

施工箇所：屋内床 鉄板(テスト施工)

被着体：金属(縞鋼板)

下地準備：清掃後、アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価：好評

備考：切削油が飛散するため縞鋼板に“防滑テープ”を貼り対策を取っているが、剥がれてしまう。
テストで、すべり止めコートを施工すると好評で購入頂き、安全な職場環境をつくることができた。

使用製品：すべり止めコート・グリーン

使用量：1セット未満(約2kg)



[写真-1]

奥側が金属加工機。

切削油が飛散して縞鋼板のステップが滑り易く危険な状態。

滑り止めテープでは、耐久性・防滑性能ともに満足できない状態が続いている。

そこで、今回すべり止めコートのテスト施工を実施。

アセトンにて脱脂洗浄を十分に行う。



[写真-2]

マスキング後、必要量だけすべり止めコートの主剤と硬化剤を秤取る。

仕上がりは、顧客の要望で市販の短毛ローラーを使うことに決まる。

市販の短毛ローラー

ヘラ、皮スキ、小分けした“すべり止めコート”。



[写真-3]

混合した すべり止めコートを塗布面に置いた状態。



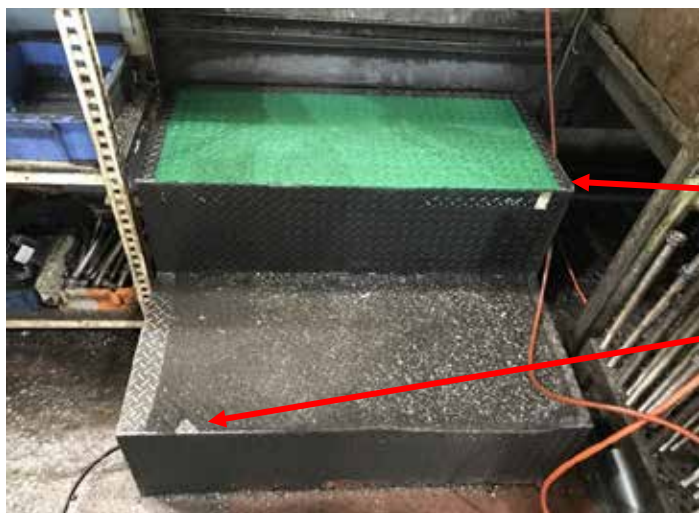
[写真-4]

ヘラを用いて、すべり止めコートを薄く塗布。

[写真-5]

その後、ローラーを転がし、凹凸を付ける。





[写真-6]
塗布完了。

下の段は、防滑テープが貼ってある状態。
切削油のため、少しずつ剥がれ始めている。



[写真-7]
別のステップへのテスト施工の画像。

こちらの防滑テープのダメージは、[写真-6]と比べると更に進行している。
切削油を吸って、皺が寄り、剥がれ掛けている様子が分かる。



[写真-8]
同工場で用意している“移動式の踏み台”、
踏み台の面にもすべり止めコートをテスト施工した。

以上